







■ 巻頭言

- 1 ジャグラの一年を振り返って 専務理事 沖 敬三
- 巻頭企画
- 2 11.12 ジャグラ全国協議会 2年ぶりにリアル開催!

ジャグラ DX の中間発表と各種表彰を実施 多額の寄付を頂戴した今井顧問に感謝状を贈呈

- 特別企画
- 16 事故事業者減も件数は増 引き続き「誤送付」が多

JIPDEC 2020 年度「個人情報の取扱いにおける事故報告集計結果」より

- 23 ジャグラ作品展大臣賞受賞社に聞く② 惠友印刷㈱(東京・新宿)/㈱洋文社(東京・文京)
- 連載・シリーズ

会員の皆様へ

26 版画と謄写とこれから 第11回:ピカソの謄写版とこれから



本誌へのご意見・記事提供は下記まで edit@jagra.or.jp

ジャグリストの皆さん、こんにちは。

会長の中村耀です。

今年も新型コロナウイルス感染症で大変な一年 でしたが、10月に2年振りに開催した全国協議 会で皆さんとリアルでお会いすることができて本 当に良かったです。

現状、国内の感染状況は小康状態ですが、海 外ではオミクロン株という新しいコロナの変異ウ イルスが拡大しています。

今年の年末は久しぶりに大勢で忘年会を楽しみ たいところかと思いますが、ここでしっかりコロ ナ拡大を予防するためにあまり無理をされず、こ じんまりと過ごしていきましょう。

最後になりますが、今年一年、会員の皆さんの ご協力のもと、会を運営していくことができまし

皆さん、よいお年を。

ラフィックサービス

電子版無料公開中!

スマホでも本誌が読めます

公式HPで本誌PDF版を公開中! 毎月中旬、紙媒体より早くご覧いただけます



https://www.jagra.or.jp/



■ NEWSとお知らせ

7 PrintNext2022開催へ テーマは『印刷を再定義一時代を彩る 印刷のチカラー』

経営・教育番組を多数配信中! jagrabb.net

10 議事録抄録

10.22 第3回拡大理事会を開催

- 12 年末年始の情報セキュリティ対策
- 21 ジャグラ作品展募集開始! 競え、プロの技。
- 22 業界の動き

12.3 Zoom で支部セミナーを開催! モリサワの電子配信ツール、UDフォント学ぶ 東北地方協議会·宮城県支部

- 28 ジャグラBB HOTNEWS
- 11 法親会のご案内
- 22 新刊情報/訃報
- 29 事務局日誌と今後の予定/事務局便り
- 8 (株)モリサワ
- リコージャパン(株)
- ㈱小森コーポレーション 13
- 富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ(株)
- 15 ホリゾン・ジャパン(株)
- 19 ㈱ショーワ
- 東京リスマチック㈱ 20
- リョービ MHI グラフィックテクノロジー(株)

なかむら通信

た。ありがとうございます。 また、来年もよろしくお願いします。

ジャグラの一年を振り返って



敬 沖 専務理事

ジャグラを取り巻くこの一年を振り返ると、昨年に引き続き、 コロナに振り回された年だったといえるでしょう。特にジャグラ 本部のある東京においては、一年の大部分が緊急事態宣言 下にあって、組織運営にも工夫と忍耐が求められる状況でした が、ワクチン接種の進展や国民の行動自粛が功を奏したのか、 新規感染者数は落ち着きを取り戻し、緊急事態宣言や飲食業 に求められていた様々な制限要請も10月に入って解除される など、近況は好転の兆しをみせています。しかし日本以外の 諸外国においてはまだまだ感染が収まったとは言えず、私たち はこれまで同様、会社においても家庭においても様々な対応を もって第6次感染に至らないよう行動しなければなりません。

このような中、10月には岸田文雄総理が誕生しましたが、 思い出すのは2012年の第54回ジャグラ文化典広島大会で す。現在副会長の宮﨑真さんが大会総務責任者の時でした が、来賓として地元選出の衆議院議員であった岸田さんより お祝いの言葉を頂いた事を総理就任に際して、懐かしく思い 出しました。

その文化典は、昨年の高知大会に続いて今年の大阪大会も 取り止めとなり、とても残念でした。しかし来年の愛知大会は、 神山運営委員長、岡本実行委員長が中心となって準備が進 んでおり、久しぶりにリアルで盛大な大会になりそうです。年 明けより本格的に募集が始まりますので、皆様奮ってご参加い ただきたくお願い申し上げます。

ところで先頃、ジャグラ 16 代会長を務められた今井茂雄顧 問から、ジャグラに対して1200万円という多額のご芳志を頂 戴いたしました。「お世話になったジャグラのために恩返しをし たい」とのことでしたが、財政難の折、誠に有難いご寄付で 感謝の念で一杯です。一方で第18代会長を務められた添田 隆男顧問が、3月にお亡くなりになったことは返すがえすも残 念でなりません。お二方のように業界を愛する諸先輩方の意 志を後輩の会員諸氏が引き継いで、ジャグラをより一層活気 のある組織にして欲しいと願うばかりです。

そんな私の希望に応えるかのように、現在、岡本副会長率 いるジャグラ DX ワーキンググループが、新しいグラフィック サービス業の姿を検討している最中です。来年の愛知大会で その成果が発表されるとのことで、今から楽しみです。

経済面においては、刷版・フイルム・用紙など印刷機資材

に留まらず、石油・食料品など全てが値上げ傾向にあり、印 刷料金への転嫁に頭を悩ませた一年でもありました。日印産 連のマンスリーレポートによると、印刷インキ、印刷機械の生 産は2020年の大幅な落ち込みから、本年4月から回復基調 にあるということで、これは光明でありますが、今秋、PODメー カーの工場火災によりトナー供給に支障を来たしたことは、ユー ザーとして大きな不安材料となりました。以上のように様々な リスクに日々向き合いながら企業経営をしているわけですが、 コロナ禍以降は「想定外」の連続で色々と学ばされた一年 でもありました。

このような厳しい経営環境にありながら、ジャグラ会員 の退会者が最小限に留まったのは幸いでした。もちろ ん売上げが以前通りに戻ったわけではなく厳しい状況 ですが、M&Aなどの動きは見られたものの倒産は 皆無で、ウィズコロナ下での印刷会社経営を各社 が工夫され対応してきた結果ではないでしょうか。 来年以降も引き続き、状況に即応しながら事業を 進めて欲しいと思います。

コロナばかりで重苦しいニュースの続く中、7月 から開催されたオリンピックとパラリンピックは、 困難な状況にもかかわらず開催にこぎつけ、ア スリートの素晴らしい頑張りから希望をもらった 方も多かったのではないでしょうか。

私個人は後期高齢者に入り、来年は77歳の喜 寿を迎えます。これまでの自分の生き方を第一幕とす れば、喜寿を迎える来年以降は第二幕です。第二幕を 迎えるにあたり、幾つかの言葉が心に浮かびました。 『出来る人が出来る時に、出来る事を出来る範囲です れば良い。』

『今出来ない人も、出来る時になったら出来る事 を出来る範囲ですれば良い。」

『そうすれば、今は小さな事でもやがて大きな力 になり得る。

今年一年の皆様方の努力が、来 年は大きな成果となって花開くと信 じています。





ジャグラ全国協議会が11月12日、東京ドームホテル で開かれ、役員、支部長ら86名が参加しました。前年 度は新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、中止と なったため、2年振りの開催です。例年、2日間にわた るスケジュール構成でしたが、今回は1日に会期を短 縮。グループディスカッションも行わず、今年6月に 発足したジャグラDXWGの中間発表、地協報告と各種表 彰の2部構成となりました。

ジャグラDXWG中間発表

協議会は中村会長の開会挨拶で始まり、熊谷副会長 の座長で進行されました。今回のメインプログラムは、 来年のジャグラ文化典愛知大会での発表を目指し、現



久しぶりのリアル会議を喜ぶジャグラ中村会長の挨拶

在、精力的に熱い議論が進められているジャグラ DX の中間発表! 最初にWGリーダーを務める岡本副会 長から WG 発足の委員会の設立経緯と趣旨が述べられ、 続いてサブリーダーの岡理事より半年間の活動につい て説明がありました。

次に、現在検討中の「生産性向上」「地域活性化」「業 態進化」の3つのテーマについて事例発表が行われま した。

まず「生産性向上」の事例として、北海道・正文舎 が行っている「デジタルプリントファクトリー」につ いて、同社の岸社長ならびにリコージャパンの佐藤室 長より説明がありました。「デジタルプリントファク トリー は、リコーの Jobsubmit Robo 導入により DX 化することで、一連の作業をロボットが担い、夜間・



進行の熊谷副会長













上段左から、ジャグラ DX ワーキンググループのリーダーを務める岡本副会長、サブリーダーの岡副会長 下段左から事例発表の正文舎・岸社長、リコージャパン・佐藤室長、田中理事、クイックス・全並さん





パンと連携してデジタルプリントファクトリ 化を進めて、成果を上げている





POD によるバリアブルプリントを組み合わせた 活用方法を披露した システム





生産性向上の事例発表:正文舎はリコージャ 地域活性化の事例発表:クイックスの「健診 業態進化の事例発表:クイックスは、コニカ Assist」は、独自開発の緯度経度システムと ミノルタの「Print バル」を使った MA と DM の

休日問わず印刷作業を行うというもの。指示や選択ミ スといった人的要因事故、資材ロスの削減、機械稼働 率向上などを通じて、収益向上を図ります。また、効 率化で生まれた時間や限られた人的リソースを、より 付加価値の高い仕事へ割り振るなど有効活用し、労働 生産性を上げながら効率化による新しい価値の創出に つなげる仕組みを構築しています。

続いて「地域活性化」の事例として、愛知・クイッ

クスの田中さん (理事) から、同社が開発した緯度経 度システムを活用した事業「健診 Assist」の説明が ありました。「健診 Assist」は健康保険組合向けサー ビスで、案内状の送付で対象者の特定健診等の受診率 向上を支援するもの。核となるのは同社独自に開発し た「緯度経度システム」で、対象者住所と健診機関の 住所データをリンクさせ、住所周辺の受診機関をバリ アブルで印刷します。対象者一人ひとり異なる「近く

の受診機関しを案内することで、受診までのハードル を下げます。圧着 DM の形を基本にパーソナルデータ を活用した新たな通知物の可能性を広げます。

「業態進化」の事例としては、「クイックスが取り 組む MA (マーケティングオートメーション) + DM」と いうテーマで、同社の全並さんよりコニカミノルタの 「Print バル」を使ったデジタルと DM の活用方法が披 露されました。同社はこれまで、セミナー集客に際し て、既存のリード、リスティング広告から申し込み フォームに誘導し、メールを受け取った人の行動を見 える化したうえで、セミナー後にアプローチをかけ、 興味関心の度合いでメールやテレアポを行い、次回セ ミナーへの誘導や商談に繋げていました。しかしコロ ナ禍で営業メールやメルマガを使う企業が増加し、 同社のメルマガ閲覧率が伸び悩んできたことから、 DMとメールを組み合わせたコニカミノルタの「Print バルーを採用。オンラインマーケティングとオフライ ンマーケティングの両軸でデータを活用し、認知・集 客から見込み顧客の管理・育成、商談化、顧客維持サ ポートを行っているということです。

以上の事例発表を受けて、岡本副会長が「いろいろ なツールを無償で活用できるよう交渉を進めていま す。典型的なジャグラの会員像ともいえる10人以下 の企業でも取り組みやすいメニューにしなければなり

ません。ジャグラの絆をカタチにする――これこそが ジャグラDXの目標です。来年6月をお楽しみに! とその決意を述べて締めくくりました。

(詳細は後日ジャグラ BB にて配信します)

地協報告

続いて各地協より、以下の近況報告がありました。 ◎北海道地協:コロナでメールと電話のみのコミュニ ケーションになった。(報告:渡辺地協会長)

- ◎東北地協:地協の大会が2年連続で中止となった。 (報告:熊谷地協会長)
- ◎関東地協:中止になった関東地協大会を来年5月13 ~15日に千葉でリベンジする。(報告:尾形地協会長)
- ◎東京地協:今年は緊急事態宣言続きで、何の宣言も なかったのはこれまで50日間のみ。委員会は活動 して情報提供していた。また賛助会員さんも参加し ていただいてオンラインイベント「秋祭り」を開催 し、講演や抽選会等で盛り上がった。(報告:清水 地協会長)
- ◎北陸地協:経験のない閉塞感。来年1月22日に富 山で新年会を開く。(報告:高橋地協会長)
- ◎東海地協:来年6月4日に3年ぶりの全国大会を愛 知で開催する。400名の参加を目指すので、奮って



















地協報告:上段左から渡辺(北海道)、熊谷(東北)、尾形(関東)、清水(東京)、高橋(北陸)、 下段左から岡本 (東海)、松下 (近畿)、宮崎 (中国)、森 (四国)、本村 (九州) の各氏 (敬称略)

ご参加いただきたい。(報告:岡本地協会長)

- ◎近畿地協:リモートで全3回の勉強会を行った。落 ち込む中で一歩を踏み出すきっかけが目的だった。 会員拡大も難問だが、軸足を置かないと組織として 続かない危機感を持つ。(報告:松下地協会長)
- ◎中国地協:リアルでの諸行事ができなくなった。で きることをやる必要性を強く感じた。(報告:宮崎 地協会長)
- ◎四国地協:各支部長が新しくなった。これを機に新 たな取り組みもしたい。また再来年もう一度高知大 会にチャレンジする。4県で意見を出し合いながら 進めていきたい。(報告:愛媛・森四国地協会長代理)
- ◎九州地協:オンラインで幹事会、セミナーを実施。 今年度は総会を開き、DXとは何か、何ができるか 考える。(報告:本村理事)

● 今井茂雄顧問に感謝状授与

過日、ジャグラに対し、1200万円という多額のご寄 付をいただいた元会長の今井茂雄顧問をお招きし、改 めて御礼を伝えるとともに、中村会長が感謝状を贈呈 しました。今井顧問からは「久しぶりに元気な皆さん のお顔を拝見し、本当に嬉しい。お世話になった業界 の皆さんに恩返しをしたいと考えていました。厳しい





多額のご寄付をいただいたジャグラ元会長の今井茂雄顧問に 中村会長より感謝状を手渡しました

経営環境ではあるが、皆様いろいろ努力されていると 思います。まずは健康を保って頑張っていただきた い」と謝辞がありました。

頂戴した寄付金の使途については、災害引当金とし て700万円、今井茂雄基金として500万円で考えてい ますが、支出ルールなどは今後、総務委員会で検討す ることにしています。

今井茂雄氏略歴

氏は平成 10~14年の2期にわたってジャグラ会長職を 務められました。この間、ジャグラは社団法人日本電子製 版工業会と合併を成し遂げますが、同工業会が持っていた カラー化のノウハウ導入により、ジャグラのカラー製版・ 印刷技術の高度化が実現しました。また、長期化する不況 の中でジャグラ運営のスリム化を図るため、「行政改革特 別委員会」を設置し、その答申をもとに理事の定数を減ら す等、財政基盤の確立に貢献しました。また、平成11年 に経営革新支援法が成立したことを背景に、印刷業が生き 残るための8つの方策(垂直統合、新領域開発、システム インテグレーション、M&A、業態変化、特化、営業力強 化、ネットワーク)を提唱し、推進しました。それらの功 績に対し、日印産連の印刷功労賞を平成15年に、藍綬褒 章を平成15年に、ジャグラの最高栄誉賞である文化功労 賞を平成18年に受賞されています。

■文化典大会旗伝達&次回大会 PR

続いて、例年、文化典の席上で行われていた大会旗 伝達が行われました。まず、四国地協の森四国地協会 長代理から中村会長に大会旗が返還され、その後、次 期開催地である東海地協愛知県支部の神山運営委員長 に託されました。神山運営委員長と鈴置総務部会長よ り、「支部活性化のため、各部会長・副部会長は、前 回の名古屋大会を知らない人たちを中心にしました。 大会スローガンは"ジャグラの新章はここからはじま る"にしました。来年6月4日の愛知大会にぜひおい でください!」と参加要請のPRがありました。



大会旗伝達:左から森四国地協会長代理、 中村会長、神山愛知大会運営委員長

|巻|頭|企|画| | タンヤグラ全国協議会・表彰式 | 一般社団法人日本グラフィックサービス工業会 | 一般社団法人日本グラフィックサービス工業会 | 一般社団法人日本グラフィックサービス工業会 | 日本グラフィックサービス工業会



作品展で大臣賞を受賞した4社の表彰







受賞者挨拶:左からリーブル・坂本さん、洋文社・只野さん、 望月印刷・望月さん、惠友印刷・萬上さん



年賀状デザインコンテストで会長賞を受賞した3氏の表彰







受賞者挨拶: 左からニシキプリント・橘高さん、エンジュ・ 竹内さん、日本アニメ・マンガ専門学校・平井さん



功労賞を受賞したの4氏の表彰(一番左は代理の露木神奈川県支部長)



受賞者挨拶:左から菅野さん、青木さん、西野さん、鈴木さん(当日は欠席)



社会貢献で表彰された宮本さん



優良従業員表彰を受けたタナカ印刷の皆さん 同社は何十年も、この表彰に際し申請いただいています

11.12 ジャグラ全国協議会 2年ぶりにリアル開催!

各種表彰

続いて各種表彰が行われました。作品展や功労賞な どの表彰は、例年、文化典式典の席上で行われていま したが、大阪大会中止のため、今回は協議会での表彰 となりました。(以下、敬称略)

●ジャグラ作品展

ジャグラ作品展で大臣賞を受賞した4社を表彰しました。

◎経済産業大臣賞

出版印刷物部門 ㈱リーブル/坂本圭一朗 宣伝印刷物部門 ㈱洋文社/只野高史

◎厚生労働大臣賞

業務用印刷物部門 望月印刷㈱/望月邦彦 開発・開拓部門 惠友印刷㈱/萬上孝平

●ジャグラ年賀状デザインコンテスト

年賀状デザインコンテストで会長賞を受賞した3名 の方を表彰しました。

カラー部門 (株)ニシキプリント/橘高洋輔

モノクロ部門 ㈱エンジュ/竹内清高

学生部門 日本アニメ・マンガ専門学校/平井湖子

●業界功労賞

功労賞は今回、功労賞、優良従業員表彰に加えて、 業界のみにとどまらず、広く社会全体に貢献のあった 方を称える社会貢献賞の表彰も行われました。

発展功労賞 ㈱興栄社/菅野潔

発展功労賞 西武写真印刷㈱/青木滋

永年協力賞 (株文成社/西野滋 永年協力賞 博光堂/鈴木雅人 社会貢献表彰 (株みやもと/宮本誠

●優良従業員表彰

出席した以下4名の方を表彰しました。

優良従業員 タナカ印刷㈱/金子未来

優良従業員のアナカの別様/荒井衛

優良従業員 タナカ印刷㈱/中澤俊介

優良従業員 タナカ印刷㈱/花咲有祐

 \times

以上で予定されていた次第は終了し、清水副会長の 閉会の言葉で全国協議会を終了としました。例年、 行っていた懇親会中止に後ろ髪を引かれつつ、久々の リアル全国協議会で、参加者からは喜びの声が聞かれ ました。

お・知・ら・せ

PrintNext2022開催へ テーマは『印刷を再定義―時代を彩る印刷のチカラ―』

全日本印刷工業組合連合会 全国青年印刷人協議会、(一社) 日本グラフィックサービス工業会 SPACE-21、全国印刷緑友会の 3団体合同で主催する「PrintNext2022」(青木允運営委員長、稲 満信祐実行委員長)が2022年2月11日、12日の2日間にわたり開催される。テーマは『印刷を再定義―時代を彩る印刷のチカラー』。

11日(金)は東京・秋葉原の3331 Art Chiyodaを会場に一般来場者向けのイベント「ココラカ市場」を企画。地域活性や環境問題、食、文化など日本各地で様々な課題に取り組む出展者と、「日本をツナグ」をテーマに若手印刷人たちがタッグを組み、取り組みやそこから生まれた商品の魅力を発信する。子どもから大人まで楽しめる展示を用意する。

12日(土)は、東京・内幸町のイイノホール&カンファレンスセンターで業界向けのカンファレンスを開く。当日はPrintNext2022ロゴコンテストの表彰式やアパホテルの元谷芙美子社長の基調講演、全国8ブロックによる活動発表とパネルディスカッションを行う。

公式サイト (https://print-next2022.jp/) ではカンファレンスの参加者登録を受け付けている。参加費は15,000円 (Zoom参加7,000円)。







あらゆる紙媒体をデジタル化し、スマートフォンやタブレット端末に手軽に配信。 さまざまなシーンにおいて、時間・場所・言語にとらわれず、情報発信から閲覧環境 まで、ワンストップで最適な環境を提供いたします。





テキストウィンドウ 自動音声合成







SNS連携機能 ログ解析機能 配信エリア 本文検索機能











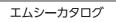


快適なユーザ体験をもたらす

多彩で豊富な機能を搭載









●記載されている会社名・商品はそれぞれ各社の登録商標または商標です。●本仕様は、予告なく変更する場合があります。

基本性能を 追求した Pro の最高峰。



多様化するニーズに対応し、ハイクオリティな印刷を続けられるタフな生産機。

生産性を高める高速出力、滑らかな高画質、高精度なレジストレーション、

幅広い用紙対応力など磨き上げた基本性能に加え、新技術 IQCT* for High-End による印刷品質の自動安定化と

印刷前の調整作業の省力化により、デジタル印刷ビジネスを強力にサポートします。

リコーの新たなフラッグシップモデル RICOH Pro C9200 シリーズの登場です。

RICOH Pro C9210/C9200

www.ricoh.co.jp/pp/pod/

RICOH Printing Innovation Center ショールームスペース RICOH Pro をはじめ、プロダクション プリンティング ビジネスの新たなソリューションをご覧いただけます。また DTP セミナーも定期的に開催中。 お問い合わせ:050-3534-2121 ※ご利用は予約制となっております。詳細につきましては、担当営業または販売会社までお問い合わせください。



10.22 第3回拡大理事会を開催

全国協議会の詳細、今井顧問の寄付金の扱い、役員選任の件などを討議

ジャグラは 10月 22日、ニッケイビル & Web 参加にて第3回 拡大理事会を開催し、11月の全国協議会の詳細、今井顧問の 寄付金の扱い、役員選任の件などについて討議した。

X

■ 第一号議案 スケジュールに関する件

省略 (巻末・スケジュールをご参照ください)

《検討の経緯》

他に発言・質問はなく満場一致で承認した。

第二号議案 全国協議会に関する件

省略 (本号・巻頭企画をご参照ください)

《検討の経緯》

他に発言・質問はなく満場一致で承認した。

第三号議案 功労表彰の件

省略(本号・巻頭企画をご参照ください)

《検討の経緯》

他に発言・質問はなく満場一致で承認した。

第四号議案 役員人事の件

田中良平理事について、令和4年1月1日より常務理事に任命したい。

《検討の経緯》

他に発言・質問はなく満場一致で承認した。

第五号議案 事業報告の件

事業の進捗状況について報告をおこなった。

《検討の経緯》

他に発言・質問はなく満場一致で承認した。

編集注:事業報告については本誌で随時報告していきます。

第六号議案 寄付金に関する件

ジャグラ元会長である今井茂雄顧問より 1200 万円の寄付をいただいた。災害引当金として 700 万円、今井基金として 500 万円で考えている。

[主な意見]

- ◎今井基金として今井さんの名前を残してほしい。
- ◎ 700 万円の使い道については毎年ではなく、何かあった時に 支出する基金にしてほしい。
- ◎災害時の支出の目安はどうなっているのか?⇒過去の災害を 目安にして決めているが、支出する用途やルールについては 総務委員会で検討する。

《検討の経緯》

他に発言・質問はなく満場一致で承認した。

第七号議案 役員選任の件

来年6月の定時総会で役員改選が予定されているので、次の 通りとしたい。

- ①役員推薦委員会の設置
- ②役員数配分は以下のようにしたい。
- ◎役員総数 28 名 (関東複写をマイナス)。
- ◎地協に配分する理事数 22 名、うち副会長は 6 名。
- ◎監事候補は次の選出としたい。

会員監事=東北、近畿地方協議会から1名 員外監事=役員推薦委員会が1名推薦する。

東グラ共済会 「遺伝子検査サービス」 人生100年時代を安心して過ごすためにお役立てください

東グラ共済会が提供する遺伝子検査はジェノブランジャパン㈱が提供するサービスを利用するもの。一般価格 3 万 2780 円のところ**大幅割引きの 1 万 9800 円 (税込、送料別) で利用可能**です。最適な保険の選択、最適な食事の把握、最適な運動の推進など、人生 100 年時代を安心して過ごすためにお役立てください。詳細はコチラで https://www.tokyographics.or.jp/news/5212/

- ●特長 ① 検査キットを下記より購入し、唾液を入れて返送するだけ
 - ② がんや一般疾患体質に係る 500 項目を解析します
 - ③ 国内最速の 10 営業日で結果がわかります
 - ④ 分析結果は冊子 (PDF)・ウェブサイト・アプリで閲覧できます

●申し込み&問い合わせ

東グラ事務局・担当:鈴木 (電話 03-3667-3771)

「ジャグラ会員」である旨を最初にお伝えください





[主な意見]

- ◎会員数が減る中で、理事の人数を減らしてコンパクトにしてはどうか。
- ◎地方の意見が反映されないなどの問題が生じるため、役員数は減らさずに29名のままにして欲しい。
- ◎伝える人が減ると情報が伝わらない。ネット会議を活用して 経費を減らし人数を減らさない方法もある。

《検討の経緯》

検討の結果、役員推薦委員会を設置し、11月12日に開かれる役員選考会議では役員数29名で提案する。以上、賛成多数で承認を得た。

第八号議案 その他の件

◎富士フイルム、コダックなどから材料費値上げの連絡が来ている。材料費の他、人件費、輸送費も高騰しており、少しでも印刷価格に転嫁できるように日印産連のものをベースにジャグラ連名で価格転嫁のお願い文書を作成した。

お願い文書はウェブからもジャグラの「データダウンロード」 からダウンロードできます。https://www.jagra.or.jp/download/

◎コニカミノルタの長野工場火災によりトナーの供給が滞って いる。第3報によるとモノクロは10月18日、カラーは11

●出席理事・監事(会議場での参加)

会 長 中村耀

専務理事 沖敬三

理 事 田中良平

●出席理事・監事 (Web 参加)

副 会 長 熊谷正司、岡澤誠、宮崎真 清水降司、谷川聡

- 理 事 渡辺辰美、向井一澄、熊谷晴樹、中島博、尾形文貴、樋貝 浩久、中村盟、吉岡新、原田大輔、鈴木將人、齋藤秀勝、 笹岡誠、武川優、高橋広好、松下忠、山中克彦、池邉寛
- 監 事 鈴置誠、東海林正博

オブザーバー 岩下浩幸(福岡)、稲満信祐(東京・港)、森孝(愛媛)

●欠席理事・監事

副会長岡本泰

理 事 岡達也、本村豪経

監 事 前沢寿博

【利害関係案件は0件であり、理事の離席はなかった】

月 20 日から出荷予定。

- ◎資材の値上げの話が来ている。お願い文書は文書を加えて使いたい。
- ◎ CTP は 10%の値上げ要請が来ている。コニカのトナー不足はとても困っている。
- ◎文書の効果は薄い。新聞広告などでアピールして欲しい。

以上



年末年始の情報セキュリティ対策

IPA(独立行政法人情報処理推進機構)では、年末年始休暇における情報セキュリティの注意を喚起しています。長期休暇の時期は、「システム管理者が長期間不在になる」等、いつもと違う状況になりやすく、ウイルス感染や不正アクセス等の被害が発生した場合に対処が遅れてしまったり、SNSへの書込み内容から思わぬ被害が発生したり、場合によっては関係者に対して被害が及ぶ可能性があります。このような事態とならないように以下の対策をチェックしてみてください。

組織のシステム管理者向け

~ 長期休暇前の対策 ~

□ 緊急連絡体制の確認

不測の事態が発生した場合に備えて、委託先企業を含めた緊 急連絡体制や対応手順等が明確になっているか確認する。

□ 連絡体制の確認

連絡フローが現在の組織体制に沿っているか等。

□ 連絡先の確認

各担当者の電話番号が変わっていないか等。

□ 使用しない機器の電源 OFF

長期休暇中に使用しないサーバ等の機器は電源 OFF にする。

~ 長期休暇明けの対策 ~

□ 修正プログラムの適用

長期休暇中に OS や各種ソフトウェアの修正プログラムが公開されている場合があるので、その有無を確認し、必要な修正プログラムを適用する。

□ 定義ファイルの更新

長期休暇中に電源を切っていたパソコンは、セキュリティソフトの定義ファイルが古い状態のままになっている。電子メールの送受信やウェブサイトの閲覧等を行う前に、定義ファイルを更新し、最新の状態にする。

□ サーバ等における各種ログの確認

サーバ等の機器に対する不審なアクセスが発生していないか、各種ログを確認する。もし何らかの不審なログが記録されていた場合は、早急に詳細な調査等の対応を行う。

組織の利用者向け

~ 長期休暇前の対策 ~

□ 機器やデータの持ち出しルールの確認と遵守

長期休暇に社外での対応が必要となるなどパソコン等の機器 やデータ等の情報を持ち出す場合は、持ち出しルールを事前に 確認し遵守する。

□ 社内ネットワークへの機器接続ルールの確認と遵守 ウイルス感染したパソコンや外部媒体等を社内ネットワーク に接続することで、ウイルスをネットワーク内に拡散してしまう恐れがある。長期休暇中にメンテナンス作業などで社内ネットワークへ機器を接続する予定がある場合は、社内の機器接続ルールを事前に確認し遵守する。

□ 使用しない機器の電源 OFF

長期休暇中に使用しない機器は電源 OFF にする。

~ 長期休暇中の対策 ~

□ 持ち出し機器やデータの厳重な管理

自宅等に持ち出したパソコン等の機器やデータは、ウイルス 感染や紛失、盗難等によって情報漏えい等の被害が発生しない よう、厳重に管理する。

~ 長期休暇明けの対策 ~

□ 修正プログラムの適用

長期休暇中に OS や各種ソフトウェアの修正プログラムが公開されている場合があるので、その有無を確認し、必要な修正プログラムを適用する。修正プログラムの適用についてはシステム管理者の指示に従う。

□ 定義ファイルの更新

長期休暇中に電源を切っていたパソコンは、セキュリティソフトの定義ファイルが古い状態のままになっている。電子メールの送受信やウェブサイトの閲覧等を行う前に、定義ファイルを更新し、最新の状態になっていることを確認する。

□ 持ち出し機器のウイルスチェック

長期休暇中に持ち出していたパソコンや、データを保存していた USB メモリ等の外部記憶媒体にウイルスが感染していないか、組織内で利用する前に、セキュリティソフトでウイルススキャンを行う。

□ 不審なメールに注意

実在の企業などをかたった、不審なメールに関する相談が多く寄せられている。こういったメールの添付ファイルを開いたり、本文中のURLにアクセスしたりすることで、ウイルスに感染したり、フィッシングサイトに誘導される可能性がある。長期休暇明けはメールが溜まっていることが想定されるので、誤って不審なメールの添付ファイルを開いたり、本文中のURLにアクセスしないように注意する。不審なメールを受信していた場合は、各組織のシステム管理者に報告し、指示に従う。

詳細は下記 IPA のサイトをご参照ください

https://www.ipa.go.jp/security/topics/alert20201217.html

KOMORI

高品位フルカラーデジタル印刷機

Impremia C Series

インプレミアCシリーズは、KOMORIブランドの高品位フルカラーデジタル印刷機です。当社開発のカラーマッチングソフトウエアK-ColorSimulator 2との運用でオフセット印刷との容易なカラーマッチングを実現します。プロフェッショナルプリンティングの世界で求められるハイレベルなニーズに呼応。オフセット印刷に迫る高画質・高精細出力、美しさが変わらない卓越した画像安定性、広範な用紙対応力、そして付加価値を高めるフィニッシャー群を有し、高度な製品技術力と新たなワークフローによるトータルソリューションで、印刷事業における新しい価値を創造し、イノベーションをもたらします。

その仕事、 KOMORIのPODに お任せください!

POD特設サイトにて ラインアップ・活用事例を紹介中





KOMORI CORPORATION www.komori.com

株式会社 **小森コーポレーション**

本 社 〒130-8666 東京都墨田区吾妻橋 3-11-1 TEL.03-5608-7806

FUJIFILM

Value from Innovation





スピードと画質を磨き上げ、さらにオールマイティーに。

ポスター、バナー、POP……多彩な製作物をこの一台で。

ウィンドウ装飾、電飾、モックアップ制作など、幅広い用途に対応できるワイドフォーマットLED UVインクジェットプリンター「Acuity LED 1600II」。ホワイトインクとクリアインクの同時積層プリントが可能になり、表現の幅が拡大したほか、出力モードのさらなる高速化も実現し、ますますバラエティー豊かな実力を備えることになりました。富士フイルムが培ってきた多彩な技術で、オフセット印刷との組み合わせによるワン・プロモーションなど、フレキシブルな運用も可能。サイン・ディスプレイビジネスに成功を約束する、オールラウンドなプリンターです。

33㎡/時の超高速出力モードを搭載	高画質と幅広い基材適性を兼備
使いやすいホワイトインクとクリアインク	ホワイト+クリアのワンパスプリントが可能に
低ランニングコストと簡単メンテナンスを実現	便利な「特定色合わせソフト」を標準搭載
着脱可能なサポートテーブル付き	

富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社 ワイドフォーマットマーケティング部

〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目26番地30号 富士フイルム西麻布ビル TEL.03(6419)0850 ホームページ https://www.fujifilm.com/ffgs/ja

Horizon

Change the focus

iCE Series 誕生

Connected をキーワードに製本工程の自動化を実現します。

iCE Series は、お客様へさらなる高付加価値を提供することを目指した次世代型商品群です。 ユーザーフレンドリーなインターフェースで作業性を向上させ、安定した生産性と自動化を高次元で追求しています。 さらに、ワークフローシステム「iCE LiNK」との連携により、先進的な作業環境を構築できます。

生産性と折り品質が向上

ice folder 紙折機 AFV-566FKT / AFV-564FKT

ナイフ折り時の最適な給紙間隔をリアルタイムに計測演算し、最高の処理速度を引き出すなど、ナイフストッパーの脱着作業を含めた様々な設定を自動化し、幅広いアプリケーションに迅速に対応します。



作業効率と製本品質が向上

**iCE BINDER 無線綴じ機 BQ-500

セット替えの高速化により、小ロットや1冊ずつ厚さが異なるバリアブル製本時にも高い生産性を実現します。また、ホリゾン独自のデリバリー機構により、厚い本身のPUR製本においても背にゆがみのない高精度な仕上がりを実現します。



高生産性と自動化を追求

iCE TRIMMER 三方断裁機 HT-300

一枚の断裁刃で天地、小口の三辺を断裁します。断裁前と断裁後の寸法をタッチパネルに入力することで設定が完了し、最高300サイクル/時で高生産性を実現します。冊子厚さの自動測定や、断裁角度の微調整など、自動調整機能により、精度の高い仕上がりを実現します。



ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03-3652-7631(代) FAX.03-3652-8083 京都支社 〒601-8206 京都府京都市南区久世大藪町510 TEL.075-933-3060(代) FAX.075-933-4025 福岡営業所 〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092-626-8111(代) FAX.092-626-8112



プライバシーマーク制度を運営する一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)が、2020年度中にプライバシーマーク制度運営要領(JIP-PMK500「プライバシーマーク付与に関する規約」第11条)に基づき、プライバシーマーク付与事業者よりJIPDECおよび各審査機関に報告があった個人情報の取扱いにおける事故について取りまとめ、公表しました(各審査機関に事故報告があった場合でも、各審査機関で欠格判断をしてJIPDECに報告しています)。JIPDECでは、「皆さまの個人情報保護へのご尽力、また事故等のご報告について感謝するとともに、個人情報の取扱いにおける事故の発生防止・再発防止等にご活用いただければ幸いです。」とコメントしています。

ジャグラとしても、プライバシーマーク付与事業者(認定事業者)ばかりでなく、ジャグラ全会員が個人情報保護に取り組む際の参考としていただきたく、JIPDECの許諾を得て掲載します。

X

概要

〔1〕2020年度の事故等報告件数

① 2020 年度は、939 の付与事業者より 2,644 件の事故報告があり、2019 年度と比較すると、報告事業者数は減少、

事故報告件数は増加となりました。(2019 年度:報告事業者数 985 社、事故報告件数 2,543 件)

② 2020 年度末時点の付与事業者数に占める事故報告事業者の割合は 5.6%となり、こちらは 2019 年度に比べ減少しています。(2019 年度: 6.0%)

(2) 報告内容の概要

- ①事故の原因を件数が多い順に見ると、「誤送付」(1,648件:62.3%)が最も多く、次いで「その他漏えい」(454件:17.2%)、「紛失」(394件:14.9%)、その他(140件:5.3%)となりました。
- ②「誤送付」の内訳では、多い順に見ると、「メール誤送信」(764件:28.9%)、「封入ミス」(323件:12.2%)、「宛名間違い等」(314件:11.9%) となりました。「メール誤送信」が 2019 年度よりも大きく増加しています。
- ③「その他漏えい」の内訳では、「関係者事務処理・作業ミス等」は、2019 年度には 2018 年度より減少 (205 件→ 138 件) しましたが、2020 年度には 2018 年度を超える 232 件に増加しました。

また、2019 年度に 2018 年度から大幅に増加 (55 件→ 185 件) した「プログラム / システム設計・作業ミス (注 1)」は 2020 年度には 102 件に減少しましたが、一件あたりの事

【用語解説】①付与事業者=プライバシーマークの付与を受けている事業者(認定事業者)、②当協会等= JIPDEC および審査機関(ジャグラを含む 18 機関)、③事故= JISQ15001 への不適合により発生した個人情報の外部への漏えい、その他本人の権利利益の侵害、④事故報告=付与事業者の当協会等に対する事故の報告、⑤報告事業者=事故報告を提出した付与事業者

故による漏えい件数が増加傾向にあります。また「ウイルス感染」も2019年度の9件から2020年度は3倍以上増えて29件となっており、増加傾向にあります。

- ④ 「その他」の内訳では、2018 年度から 2019 年度にかけて増加 (24 件→66 件) した「誤廃棄」が 2020 年度には38 件に減少しました。他に目立つ点としては、2019 年度には8 件だった「内部不正行為」が、2020 年度には15件に増加しました。
- ⑤ 2020 年度は、新型コロナウイルス感染症対策のための 「テレワーク実施」「新たなコミュニケーションツールの 利用」などの業務環境の変化の影響が、事故報告の内容 にも見られます。(注 1)

〔3〕全般的な状況

(1) 事故報告の状況

2020 年度度の付与事業者から当協会及び審査機関に対する事故報告の状況は、報告事業者数が939社、事故報告件数が2,644件となり、前年度と比較すると、報告事業者数が減少、事故報告件数が増加となりました。各年度末における付与事業者数全体に占める報告事業者数の割合は前年度6.0%から5.6%に減少、過去5.5%前後で推移していた状況に戻りました。(注2、注3)

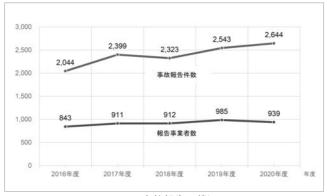


図1:事故報告の状況

(2) 原因別に見た事故報告状況

当協会及び審査機関に報告された事故報告について、発生原因別にみると、前年度に続き「誤送付」が1,648件(62.3%)と最も多く、次に「その他漏えい」454件(17.2%)、「紛失」394件(14.9%)の順となりました。

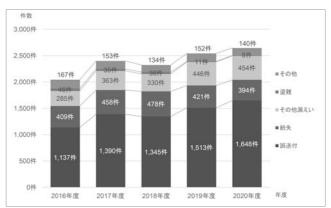


図 2:原因別に見た事故報告件数の状況

図2の「誤送付」の内訳は、図3の通り、書類等送付時の「宛名間違い等」「封入ミス」「配達ミス」に「メール誤送信」「FAX 誤送信」を加えたものです。そのうち「メール誤送信」は764件と事故報告全体の中でも最も報告件数が多く、誤送付の中で次に多かったのは「封入ミス」で323件でした。

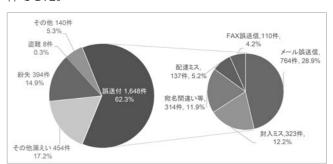


図3:原因別事故報告件数「誤送付」の内訳

ここ5年間の「誤送付」の内訳の原因別割合の推移をみると、「メール誤送信」は2020年度が最も高くなっているのに対し、紙媒体による「宛名間違い等」「封入ミス」「FAX誤送信」は2020年度が最も低くなっています。これは、新型コロナウイルス感染症対策のための「テレワーク」導入等による、通信手段・連絡手段の変化によるところと推測されます。

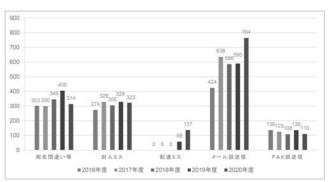


図 4:原因別事故報告件数「誤送付」の内訳推移

⁽注1) 本年度より、「システムのバグ」の件数を「プログラム/システム設計・作業ミス」に含めて集計。

⁽注2) 配達委託先が起因となり不可抗力と判断した事故の報告件数や報告事業者数は含まれない。また、同一の事業者から複数回事故報告書を 提出された場合、「報告事業者数」は1社としてカウントした。

⁽注3) 各年度末における付与事業者数全体に占める報告事業者数の割合は巻末のデータ編に記載。

また、今回の集計において、かつては見られなかったメッ セージングサービス等の「新たなコミュニケーションツー ル における誤送信事故は 「メール誤送信」に含めており、 その点においても、新型コロナウイルス感染症対策による 業務のやり方の変化が集計から読み取れます。

図2の「その他漏えい」(454件)の内訳は、図5の通り、 「ウイルス感染」「プログラム/システム設計・作業ミス(シ ステムのバグを含む)」「不正アクセス・不正ログイン」「口 頭での漏えい」「関係者事務処理・作業ミス等」となりま す。

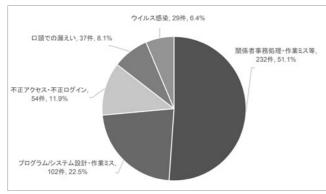


図5:原因別事故報告件数「その他漏えい」の内訳

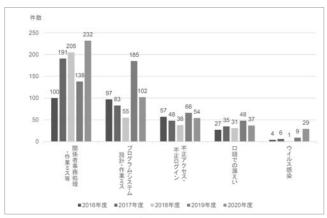


図 6:原因別事故報告件数「その他漏えい」の内訳推移

図6の通り、関係者事務処理・作業ミス等はこれまでに 比べて大きく増えており、新型コロナウイルス感染症対策 のために、いつもと作業や手順が異なることで、発生した と言えるでしょう。

また、ウイルス感染も前年度から3倍以上に増えており、 増加傾向にあることがわかります。

漏えい以外の事故である「その他」(140件)の内訳は、 図7の通り、「不正取得」「目的外利用」「同意のない提供」 「内部不正行為」「誤廃棄」「滅失、き損」「左記に分類でき ない内容」「評価対象外(事故対象に個人情報が含まれてい なかった場合等)」となります。

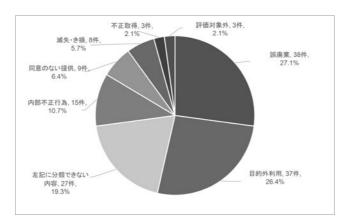


図7:原因別事故報告件数「その他」の内訳

[4] まとめ

個人情報に関する事故は年々増加しています。その手法も 古典的なソーシャルエンジニアリングから攻撃手法も多様 化しているランサムウェアまで様々です。取るべき対策は 個人情報保護のための計画 (Plan)、実行 (Do)、評価 (Check)、 改善(Act)のサイクルを回すことであり、継続的に取り組 むしかありません。最近ではニュースでも不正アクセスや ランサムウェアの被害が多く報道がされていますので、個 人情報や情報セキュリティに関する感度を高めるととも に、定期的なシステムのアップデート、環境に応じたルール の見直しなどをタイムリーに実施していくことが必要です。

なお、2022年4月には改正個人情報保護法が施行されま すが、その中で、重大事故発生時の個人情報保護委員会へ の報告が義務化されます。これに伴い、事故に関する届け 出、またその報道などが増えていくことが予想され、世の 中の事故への関心が高まることが予想されます。

大きな事故の迅速な報告はもちろんですが、小さな事故 でも届け出ることで、PDCAサイクルをきちんと運用するこ とができるようになりますので、事故報告書の提出を恐れ ずにご対応いただくようよろしくお願いいたします。

〈事故発生防止策〉

セキュリティ確保	□ 業務利用PCのセキュリティ対策の確認・徹底
ミスの未然防止	□ 各業務における 「間違う可能性のある場面とチェックポ
	イント」の洗出し
	□ チェックの徹底
	□ イレギュラー処理の場合こそ、チェックが重要
	□ ダブルチェック、クロスチェック(※)
	□ セルフチェックをせざるを得ない時のコツ
	□ セルフダブルチェックの工夫指差し確認、声出し確認
物品・書類の管理	□ クリーンデスクの徹底
	□ 職場、自宅ともに業務を行う場所のクリーンデスクを徹底
	□ テレワーク時の使用機器・書類等の保管場所設定
便利な機能を正しく活用	□ 新規ツール(機器、システム等)導入時には操作や初
する	期設定の確認を必ず行い、ミスが発生しやすい部分に
	ついては、そのリスクおよび回避方法について周知
コミュニケーション確保	□ 意識的にコミュニケーションをとる
安全確保のための柔軟性	□ ルール・手順は状況と目的に合わせて、見直す
	□ ルール・手順通りにできないからしないのではなく、で
	きることをする
(*) 2027 2. Mark Har Older Left Har Start Andrew Communication of the Co	

(※) クロスチェック: 確認や検証の精度や信頼性を高める手法の一つで、二つ以上の 異なる方法や観点、資料などによりチェックを行うこと





ユーザーサポート こそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の < 昭和謄写堂 > として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。

創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固な までにこだわり続け、そのこだわりは創業から 100 年に向けて今なおショーワの 社員一人一人に DNA として脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念に もあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だから こそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる 知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと 考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い 志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション&リサーチ ユーザー会で密に情報交換

研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会 ○会報・メールマガジンの発行 ○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで

SHOWA会事務局 TEL,03-3263-6141 FAX,03-3263-6149



プリントメディアの総合商社

http://www.showa-corp.jp/

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2 丁目 7 番 8 号 TEL 03-3263-6141(代) FAX 03-3263-6149



TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。



東京リスマチック株式会社

プリントデスク **0120-269-132**

平日(月~金) 9:00~17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



ジャグラ作品展 募集開始!

競え、プロの技。

『ジャグラ作品展』は、グラフィックサービス工業の技術力向上やマーケットへのアピールを目的として開催するもので、ジャグラの前身である日本軽印刷工業会が社団法人を設立した1966年より開催されている歴史あるコンクールです。作品展部会(岡澤誠部会長)では、より多くの皆様にご応募いただきたいと、前回より大臣賞受賞4作品に賞金3万円を授与しています。皆様奮ってご応募ください。

募集 部門

出版印刷物

宣伝印刷物

カタログ類、ポスター、ダイレクトメー

業務用印刷物開

盟拏・盟拓

単行本、文芸書、教科書、学術参考書、 専門書、法規集、写真集、雑誌、ハンド ブック、自費出版、定期刊行物、復刻版 など。

いわゆる出版物と言われる印刷物。

ル、リーフレット、チラシ、POP、パンフレット、カレンダー、PR誌、各種案内書など。

宣伝的要素の強い印刷物で、主としてカラー印刷物や凝った印刷物。

研究報告書、文集、記念誌、機関誌、便覧、手引書、名簿、会議資料、大会等資料、会報、年報、リスト、パーソナルユース (年賀状、レターヘッド、ハガキ、名刺など)など。

斯業が主流としてきた印刷物。 また、商業印刷物のうち、モノクロ印刷 物も含む。 新商品、新機器・新手法・新技法による作品、販促成功例、活路開拓・需要拡大商品、未来ビジネスへの足掛かり商品、自社企画による印刷物、印刷物以外の商品、間接的に生産された印刷物、ソフト・サービスCD-ROM等のマルチメディア。

拡印刷を目指す技術・商品の開発・新技術の開発、営業要素が強い作品・サービスなど。

審査日程(予定)

◎第一次審査 2022年4月上旬 第二次審査 2022年4月上旬 ※審査員はコンクール委員&学識経験者◎最終審査 2022年4月中旬

※審査員は、経済産業省、厚生労働省、全国中小企業団体中央会、 日本印刷産業連合会、日本印刷技術協会、日本印刷機材協議会、 日本プリンティングアカデミー、業界紙各社、学識経験者、コ ンクール委員長を予定。

◎審査方法 審査基準に基づいて採点し、順位を決定。

A 企画:企画の視点・狙い

B 編集:全体の構成、取材・執筆等

C 造本設計:製本、書籍全体のデザイン、用紙選択等

D 文字組版: 難易度が高い、禁則ルール等

E 印刷の仕上がり:オフセット印刷、デジタル印刷、その他

F 開発・開拓:開発・開拓の視点、狙い等

G その他

■ 優秀作品への各賞

経済産業大臣賞(2点)、経済産業省商務情報政策局長賞(2点)、厚生労働大臣賞(2点)、厚生労働省人材開発統括官賞(2点)、全国中小企業団体中央会会長賞(4点)、そのほか、日本印刷産業連合会会長賞、日本印刷技術協会会長賞、日本印刷機材協議会会長賞、日本プリンティングアカデミー学校長賞、報道各社賞、ジャグラ会長賞ほかを予定。(大臣賞に賞金3万円を授与)

応募方法・申込書

応募作品に申込書を添えて、ジャグラ本部までご送付ください。 送料は応募社負担となります。申込書(Word 文書)はジャグラ HPよりダウンロードしてください。

······開催要項 ······

■審査対象■

2021年中に完成した作品

■ 応募期間 ■

■ 発 表 ■

ジャグラHPおよび本誌6月号

■表彰式■

2022年6月4日● 文化典愛知大会記念式典席上

- 主 催 一般社団法人日本グラフィックサービス工業会
- 主 管 ジャグラ作品展部会
- ●後援経済産業省、厚生労働省、全国中小企業団体中央会、一般社団法人日本印刷産業連合会、公益社団法人日本印刷技術協会、日本印刷機材協議会、学校法人日本プリンティングアカデミー、業界報道関係各社ほか

ジャグラ

12.3 Zoom で支部セミナーを開催! モリサワの電子配信ツール、UD フォント学ぶ 東北地方協議会・宮城県支部

ジャグラ東北地協・宮城県支部は㈱モリサワ仙台支店の 協力を得て12月3日、『情報発信のデジタル化を電子配 信ツール「MCCatalog +」と UD フォントでサポート」 (講 師:同社営業企画部公共ビジネス課 大阪:盛田さん 東京: 野村さん)をテーマに、東京・大阪・仙台を結ぶ3箇所中 継による Zoom セミナーを開催しました。

◇情報発信のデジタル化というのは DX(デジタルトラン スフォメーション)「進化したデジタル技術を浸透させる ことで人々の生活をより良いものへと変革する」という概 念で、それが我々印刷業と顧客にハッピーな関係をプレゼ ントしてくれるか具体例を挙げて提案レクチャー。

◇ UD フォントは所謂ユニバーサルデザインであり、「みん なに優しい世の中をつくるためのデザインツール」です。 いかにお客様に付加価値として提案できるのか成功例を示 して分かりやすく説明。今回のセミナーはモリサワ仙台支 店に熊谷晴樹地協会長・宮城県支部長と事務局・大橋が詰 め、東京と大阪の講師陣とコンタクトしながらジャグラ側 がハンドリングしてセミナーを設営しました。モリサワ様 のリモートスキルのおかげで3ヵ所中継のハンディを感じ させず、具体的な例を挙げてのレクチャーに概ね好評を得 てセミナーは終了しました。(記:東北地協事務局 大橋邦弘さん)







上:宮城県支部 Zoom セミナーの様子、 下:モリサワ様から展開された資料

JIPDEC

『改正個人情報保護法―実務ガイドブック』発刊 個人データ戦略活用をステップで解説 新刊情報

2022年4月施行の改正個人情報保護法に合わせて『個 人データ戦略活用―ステップで分かる 改正個人情報保護 法一実務ガイドブック』が10月18日に発行された。著者 は、JIPDEC・主席研究員 寺田眞治氏。同書は個人データ の戦略活用と保護・信頼を得る企業だけが優位に立つ「プ ライバシーガバナンス」の実務書となる。内容は、①個人 情報とプライバシー、情報セキュリティの関係、②プライ バシーガバナンスの実務、③個人データ活用と保護の実務、 ④プライバシーポリシーをどう書くかの4点で構成され、 特に③で個人情報保護法を遵守するための対策や注意点等 に 200 頁余が割かれている。

発行: 日経 BP A5 版 288 頁 定価: 2,400 円 + 税

かねて病気療養中の山中茂参与(徳島・グランド印刷㈱)が11 月19日に逝去されました。享年96。11月23日、葬儀及び告別 式が社葬で執り行われました。喪主は山中克彦氏(同社代表取締 役社長)。ジャグラは生花と弔電を供えました。

故人は、昭和32年に結成された徳島県謄写印刷業組合(現在 の徳島県支部)の結成の発起人の一人で、徳島県支部の興隆に 尽力した。昭和30年8月に創立されたジャグラの草創期を知る 数少ない一人が亡くなったと言えよう。また、平成10年9月に開 催されたジャグラ文化典徳島大会では運営委員長として大会を成 功に導いた。

〔主な履歴〕徳島県支部長=昭和53年~平成4年(14年) ジャグラ理事=昭和53年8月~昭和61年8月(4期8年) 〔主な賞罰〕軽印刷発展功労賞=平成4年9月(ジャグラ文化典 若鯱大会)



|特|別|企|画

ジャグラ作品展 大臣賞受賞社に聞く②

開発・開拓部門 厚生労働大臣賞 『第26回 いたばし国際絵本翻訳大賞 英語・イタリア語部門最優秀2作品』

受賞作は板橋区の絵本翻訳大賞の受賞作

惠友印刷㈱(東京・新宿) 代表取締役 萬 上 孝 平

2年ぶりに開催されたジャグラ作品展の入賞作品が決定 したことは、本誌 10 月号で既報の通りです。先月号から、 各部門の最高賞である大臣賞を受賞した会員企業に、制作 に当たっての苦労話や裏話についてご寄稿いただいていま すが、その2回目(最終回)をお届けします。

板橋区からの誘いで企画出版に乗り出す

この度、ジャグラ作品展の開発・開拓部門で、栄えある 厚生労働大臣賞を頂きました。弊社の作品を選んで下さい ました審査員の皆さま、事務局の皆さま方に心より御礼を 申し上げます。

受賞作は出品時、出版印刷物部門に応募したものでした が、案件獲得の経緯や特性からか、開発・開拓部門に振り 分けて頂いたようです。弊社はこの十数年の間に制作部門 を強化し、その腕試しとして本作品展に積極的に挑戦・出 品して参りました。最高賞である大臣賞は初めての受賞で、 1つの悲願を果たせた事を大変よろこばしく思います。

出版印刷物のジャンルとして、「絵本・児童書」にフォー カスし始める契機となったのは、イタリア・ボローニャ市 と友好都市 10 周年を迎えていた板橋区からのお誘いです。 板橋を地盤とする中小企業診断士協会や商工会議所などの 繋がりを得て、受託印刷から一歩踏み出し、出版企画や編 集の領域へのチャレンジが本格的に始まりました。

また、この間に弊社は経営承継を進めており、若いメン



「紙から伝わる想い 色から伝わる想い」 紙メディアへの愛情を感じる同社 HP https://www.keiyu-printing.jp/

バーと次世代を見据えていく中で、一旦きちんと立ち止 まって社のアイデンティティを再構築し、誰にとっても受 容しやすいストーリーを語り、リブランディング等を意識 的に行って参りました。

| 「絵本のまち板橋」印刷製本業を盛り立てる気運

弊社が本社を構える東京都板橋区は「絵本のまち板橋」 を掲げ、都23区でも珍しい大規模でユニークな区立美術 館や中央図書館、いたばしボローニャ子ども絵本館などを 運営しています。絵本の読み聞かせのボランティアを多数 擁し、年間を通じて絵本関連のイベントが開催され、地場 産業として印刷・製本業を盛り立てようとする気運もあり ます。

今般、当社の創業者で現会長の萬上圭輔が経営する出版





大臣賞受賞の2作品は「いたばし国際絵本翻訳大賞」でも最優 秀賞を獲得している (左が英語部門、右がイタリア語部門)









「絵本のまち板橋」を掲げ、イタリア・ボローニャ市と友好都市の板橋区にある 絵本専門図書館「いたばしボローニャ絵本館」の館内(写真は同館 HP より) https://www.city.itabashi.tokyo.jp/library/bologna/

社・山烋が、板橋区と「いたばし国際絵本翻訳大賞」の出 版契約を締結。これにより、第26回の英語部門・イタリ ア語部門の最優秀翻訳大賞受賞2作品の印刷・製本案件を 引き寄せる事となりました。

2 タイトルともにエディター・編集協力の細江幸世氏か ら指示を受け、当社制作部門において原書の色調よりも全 体に彩度を上げ、シャープネスを効かせるなどしています。 元より原作の絵の力と日本語翻訳の秀逸さが担保された作 品であり、国内の紙とインキ、そして当社の技術力と設備 で再現しうる最適解を模索しました。因みに本文用紙は北 越ミューマットであり、出力線数 240 線相当の高精細印刷 です。

板橋区の事業自体が、翻訳家の活躍の舞台提供、絵本の 教育的・文化的価値の創出、産業エコシステムの形成、さ らには地域共生といった観点から為されており、当社に とっても実り多い案件と言えます。

宣伝印刷物部門経済労働大臣賞 『稔りゆく自然、移りゆくアート』カタログ

ディレクション能力が顧客満足度に繋がる!

(㈱洋文社 (東京・文京) 取締役副社長 只野高史

展覧会用のチラシ・ポスター・カタログを受注

この度、ジャグラ作品展におきまして宣伝印刷部門 経 済産業大臣賞を受賞できました事、関係各位に対して心よ り感謝申し上げます。つきましてはどのような経緯で需要 創出したか、受注から納品までの経緯を記してみたいと思 います。何かの参考にして頂ければ幸いです。

このカタログ(図録)は、展覧会「令和元年度 星と森 の詩美術館アート教育プロジェクト 稔りゆく自然、移り ゆくアート-日本とメキシコ版画交流(2019年10月11 日~11月30日)」のために制作されたものです。

2019年夏、デザイナーのMさんから日大芸術学部のS 先生が展覧会をやるので手伝ってほしいと連絡を受けまし た。限られた予算の中でなるべく良いものを創りたいとい う内容だったと記憶しています。

今回受賞したのはカタログですが、それに先立ち、チ

ラシ・ポスターを受注しました。A4の両面カラーチラシ、 B2 ポスターです。M さんからモチーフとなる作品の写真・ デザイン案を見せて頂き、作品が版画なので質感のあるも のにしたいというご要望を頂きました。

そこで、チラシには b7 バルキー、ポスターはアラモー ドホワイトという用紙選定をしました。ともに同系用紙の 中では安価なものになります。用紙を薦める際、質感や発 色など、ある程度の説明はしますが、絵柄によって印象が 変わる事、そういった意味でテストになる事、どういった ものができるかという高揚感を共有する事が大切だと思い ます。

今まで使った事のない用紙を使うとき、デザイナー・印 刷現場もちろん営業もドキドキです。気持ちを共有するこ とで一体感が生まれ、それが製品に反映されるのではない でしょうか。チラシ・ポスターはイメージ通りの仕上りで 無事納品となりました。

限られた予算の中でも想像以上のものができた

カタログに関して、展覧会後の配布予定で2019年の年 をまたいだ仕事になりました。すでにチラシ・ポスターで 発色確認を終え、表紙にはポスターで使ったアラモードホ ワイト、本文はチラシの b7 バルキーを予定していました が、b7 バルキーの在庫がなく揃わない事態になってしま いました。この用紙はこのような事態がよくあると業界内 で耳にします。b7 バルキーの代替品をどうするか、色々 な印刷物を見て、ある写真集に使われていた OK ピクシー ドソフィアが目に留まりました。b7 バルキーより黄みが かっているが発色が良く、メキシコの原色の作品に合うと 感じました。Mさんにはこの写真集で確認をとり、S先生 にこれで行きますと伝えました。

図録=絵画などの作品が多く掲載されている印刷物は アート系の用紙が使われることが多いと思います。絵画な どの色の再現性は高いですが、全体としてはどうかな、お もしろい用紙は色々あるし、一冊の本としての方向性をど こに向かわせるかという意味で、用紙の役割はとても大事 だと思います。もちろん、個々の用紙特性と作品との相性 は大切ですが……。

版画という作品を掲載するにあたり、版画の持つ質感= 力強さを表現したいとの要望を受け、表紙タイトルには Wシルク厚盛を採用しました。目立たたせたいポイント に透明な樹脂インクを印刷してUVで硬化させる印刷方式

です。厚盛にすると断裁時に潰れる場合もあるため、表紙 をくるみ、抜きで仕上げます。表紙の版画はモノトーンで タイトルも同系色のため、非塗工紙のアラモードのザラザ ラ感と相まって効果が発揮できたと思います。

主観となりますが造本において、本文にはあまり厚い紙 は使わない方が良いと思います。開きが悪くなる事、それ によって無理に開こうとすれば背割れの原因にもなりま す。また、開きの悪い本は本人にとっても周りからみても、 本を開いている姿があまり美しくないように感じます。今 回は図録ということもあり、版画の印刷面積が大きく、図 柄が裏抜けしないようにしたいという要望もありました。 なので本を片手で開いてギリギリ読めるレベルの紙厚にし ました。必要以上に厚い紙を使うとしなやかさが損なわれ、 掲載されているものまで大雑把な印象を与えかねませんの ~

以上、このカタログの話が来てから納品までの道程にな ります。良かった点は、限られた予算の中、発注サイドが 想像していたもの以上のものが出来たこと。もちろん、単 価は下げずに予算削減できる事は行い、利益確保にも努め ました。印刷営業は仕様通りの見積りを出すのではなく、 予算を探りその中で最大限できる事を提案する事が顧客満 足度を高める方法だと思います。デザイナーがデザインを 完成する前に、どのあたりまでやって良いかというディレ クションこそが我々には求められているものではないで しょうか。





25

版画と謄写とこれから

第11回:ピカソの謄写版とこれから

新ガリ版ネットワーク首都圏支部長 Atelier 10-48 主宰/版画家

神崎智子

田市立国際版画美術館にて「パブロピカソ・版画の線とフォルム」というタイトルの展覧会(2014年)がありました。その展覧会で私が初めて見たピカソの謄写版。それは「原紙」でありました。原紙が窓の空いたマットで挟まれた状態で、額装されて展示されているものでした。

以前の連載(第4回)で、アーティストの謄写版の利用例としてアンディ・ウォーホルの原紙を紹介し、私の著書でも作品を掲載しています。これはパサディナ美術館に依頼されて製作されていたもので、ピカソも同様に作品を依頼されて残していました。私の調べでは作品入りの会報(①)に使われた原紙が今に残っているとのことで、刷ってインクを拭き取った状態のものであります。

「母性」と言うタイトル(フランス語でマタニティ)の作品は1938年に制作。エディション数は12という少ない数でしか制作されていません。また、1985年刊行のカタログレゾネ*1(②)には、「Gestetner ステンシルに関する」という項目で5点ほど作品が掲載されてありました。母性はその中の一つということになります。(③4)⑤⑥⑦)

◎制作の時代

日本 品は 1938 年にバルセロナにて制作。
G estetner は日本からの和紙を使用した原紙ではなく、デュロタイプを製造販売していた頃になります。他、
謄写版関連技術として、シルクスクリーンの写真製版法もありましたし、Fax 製版もオーストリアのリチャード・ラント博士による設計・開発はすでに行われていました**2。
ですので、おそらくこのピカソの作品の製版に使用した原紙は先のレゾネの項目名にもあるように Gestetner 製デュロタイプ。タイプ原紙で制作したということになります。

ピカソ自身の動きと言いますと、ちょうどスペイン内戦・戦争の悲劇を表現した作品「ゲルニカ」制作を着手した頃(1937年~)になります。また、この作品群は『スペイン内乱時に美術作品を保護する基金を集める目的の刊行物のための作品』になります*3。

カタログレゾネには「この作品の原紙はありません、消

失しました」とあります。ですが実際には私が拝見した通り。町田市立国際版画美術館は原紙作品を借りて展示をしていたので、収蔵は群馬にある大川美術館でした。また、「母性」と、実はもう一つピカソの謄写版原紙がバルセロナ・ピカソ美術館に存在することがわかりました*4。謄写版は版自体をそもそも残さないものですから、大変貴重なものです。

ピカソのこれら5点の作品はタイプ原紙に「鉛筆、木の枝等」で製版しました。刷られた作品は、Gestetner's paper と書かれたレイド紙に印刷しているとのこと。Gestetnerが印刷用紙も販売していたという確認にもなります。

◎再会するために

現 在、この作品の原紙が日本に存在しているのですが、制作から83年(2021年現在)。タイプ原紙という、柔らかな支持体にゼラチンもしくはプラスチック化合物が塗布された原紙は非常に脆く、誰でも観覧できる保存状態ではありません。原紙は各所に破れが発生し、おそらく展示で観覧できたのは町田で見た時が最後だったのではと感じます。

それから6年後の2020年、私は特別に許可をいただき大川美術館へ実物をもう一度拝見することができました。作品保護のため、灯りを落とし薄暗い応接室で再度拝見した作品は、先に記した通りマットで挟み額装(⑧⑨)。弱く繊細な原紙が、1938年以降どのような状態で渡り歩き、現在の地へ辿り着いたのかわかりませんが、(大川美術館の収蔵履歴を拝見したところ)30年近く決して強くない展示・保存方法で収まっています。また物珍しさから、各地へお貸ししていたようで、そういった経緯もあり、原紙自体へのダメージは相当に蓄積されている状態です。

私のような素人目で見ましても今後の展示は難しくおもいますし、当然プロの学芸員・修復の方もお困りの様子でした。そもそも美術の研究として、謄写版原紙の構造がどういったものになっているのか等の知識・情報もかなり少



① 会報「L'Espagne Aujourd'hui」誌 中央に「臨時増刊号にはイラスト入り付録 と2枚の絵が付いています。PABLO PICASSO プラド美術館館長が本誌のために特別に制 作してくれました」と記述

資料:サザビーズ



② Brigitte Baer著 『Picasso,Peintre-Graveur, Ⅲ』 素細



③「母性」 1938年 約310×210mm



④「髭面の男の横顔」1938 年約 246 × 178mm



⑤「セザール・バジェホの 遺影 I」1938 年 約 220 × 183m



⑥「セザール・バジェホの 遺影 II」1938 年 約 236 × 196mm



⑦「セザール・バジェホの 遺影 III」1938 年 約 207 × 182mm

③~⑦ 資料: Brigitte Baer 著『Picasso, Peintre-Graveur, Ⅲ』より



⑨「母性」謄写版原紙表 ⑩「母性」謄写版原紙裏 両面より観覧できるように額装



① 「蟲・魚・介」恩地孝四郎 1943 年

ないですし、雁皮紙による「ロウ原紙」よりもはるかに耐 久力がない「タイプ原紙」ですので、現状の情報量では手 出しできません。謄写版美術の研究がまだまだなされてい ない実情がここでも課題になっていました。

◎状況と謄写版のこれから

■ れから、版画作品として美術館は謄写版を取り扱 うように成っていきます。実際、既に若山八十氏 や愁土会のコレクション作品は美術館に収蔵されています し、日本版画を支えてきた恩地孝四郎の謄写版版画作品も あります(⑩)。謄写版の版画作品を対象として扱ってい く研究者もそろそろ出てきても良い頃だと思っています。 ですので、知識の蓄えも一つの課題とも感じています。

私の著書『謄写版のこれまで・これから』はそう言う思

いを強く持ち執筆しました。

- ※1 Brigitte Baer 著『Picasso, Peintre-Graveur,III』(仏語・ピカソ版画カタログレゾネ)。このカタログレゾネは作品集という意味合いだけでなく、作品の製作工程など詳しくまとめたもの。国会図書館にも収蔵がなく、公立図書館には1点だったためコロナ禍と相まって拝読までに大変苦労した。
- ※2 神﨑智子著『謄写版のこれまで・これから』P39の年表参照。
- ※3 大川美術館資料による
- ※4 5点の作品には 1938年3月31日と1938年6月9日の制作日付が記されている。原紙が存在する(とされている)「母性(③)」と「髭面の男の横顔(④)」は3月31日であった。

ピカソの謄写版について見るよ/ON AIR TO-SHA #1



http://bit.ly/39lkugN



ジャグラが運営する、印刷業関連のセミナー、情報動画配信 サイトです。2006年の開局以来、印刷業の情報収集、人材 教育ツールとして多数の印刷会社に活用されています。

寒い冬こそ『巢ごもり動画!』

JagraBB委員会が選ぶ

"人"起点のイノベーション (ビジネス)

"ヒト"なくして印刷DXは語れない!

~DXはそもそも何故必要なのか?

【パネルディスカッション】

誰のために実施するのか?~

入稿データの

チェックポイント

Ai Adobe Illustrator編

カテゴリー 🔰 教育と技術 🍃 DTP

入稿データのチェックポイント

~Adobe illustrator編~



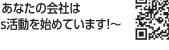
すべてのデザイナーや制作オペレーターへ 「仕事の幅が広がる毛筆書体」 (SPACE-21全国協議会康児島大会より)





印刷会社のSDGs導入事例(栃木編) ~もう、あなたの会社は SDGs活動を始めています!





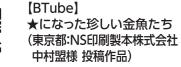
カテゴリー 🤰 セミナー 🤰 経営者向け



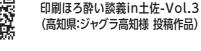
「巻頭言・もし村上春樹が、 終電間際の地下鉄に乗ったら」

(ジャグラニュース番外)









[BTube]

朗読



ジャグラ高知として台本を作って

▷ 最新情報はWEBをチェック

バネルディスカッション

『印刷業界における ブリントとマーケティングのDX

印刷業界におけるプリントと

2020 オリンピックと消防団

「巻頭言・2020オリンピックと消防団」

カテゴリー ┣ ニュース ┣ ニュース・業界情報

(ジャグラニュース番外)

東京・城東支部長/株デジタルインブレッパ 谷口理恵

カテゴリー 🔪 セミナー 🤰 経営者向け

マーケティングのDX化

【パネルディスカッション】





11月の事務局日誌

- 1日 マーケティング委員会(本部)
- 2日 プライバシーマーク現地審査(都内)
- 5日 プライバシーマーク現地審査 (新潟)、印刷物創注委員会 (Web)
- 9日 SPACE-21 正副代表会議 (Web)
- 12 日 総務委員会、全国協議会、役員推薦委員会(以上、東京ドームホテル)
- 15日 プライバシーマーク現地審査(大阪)
- 16日 プライバシーマーク現地審査 (大阪)
- 17 日 DX ワーキンググループ (Web)、日印産連専務理事連絡会/臨時 (日印産連)→沖専務、 ジャグラ BB 委員会 (Web)
- 18日 プライバシーマーク現地審査(都内)
- 19日 広報委員会 (Web)、近畿地協総会 (ホテルグランヴィア和歌山) →祝電
- 24日 経営技術研究委員会 (Web)
- 25 日 JAGAT 理事会 (Web) →吉岡理事
- 26日 生産性向上委員会 (イナミツ印刷+ Web)
- 29日 日印産連『印刷の月』記念式典(ホテルニューオータニ)→中村会長、清水副会長
- 30日 プライバシーマーク現地審査(秋田)

12 月のスケジュール

- 1日 プライバシーマーク現地審査(秋田)
- 4 日 大分県支部·青年部忘年会(大分)→事務局
- 7日 ニッケイビル消防査察
- 8日 プライバシーマーク審査会 (本部)、日印産連ステアリング・コミッティ&専務理事連絡 合同会議(日印産連& Web)→中村会長・沖専務
- 9日 ジャグラコンテスト専門委員会議 (Web)
- 10 日 東京・文京支部 60 周年式典・忘年会(上野東天紅 & Web)→中村会長・沖専務、プ ライバシーマーク現地審査(神奈川)
- 13日 SPACE-21 幹事会 (Web)
- 14日 プライバシーマーク現地審査(秋田)
- 15日 プライバシーマーク現地審査(秋田)、ジャグラ BB 委員会(Web)
- 16日 DX ワーキンググループ (Web)、印刷物創注委員会 (Web)
- 20日 マーケティング委員会(本部)
- 23日 広報委員会 (Web)、ジャグラコンテスト委員会 (Web)
- 28日 仕事納め

2022 年 1 月のスケジュール

- 5日 仕事始め
- 6日 日印産連新年交歓会(ホテルオークラ)→中村会長他
- 11日 東印工組新年会 (パレスホテル東京)
- 12日 SPACE-21 幹事会 (Web)
- 13日 大阪府支部新年会
- 14 日 DX ワーキンググループ (Web)、千葉県支部新年会 (ホテルミラマーレ)
- 17日 東グラ新春賀詞交歓会 (東天紅上野本店)、経営技術研究委員会 (Web)
- 18日 印刷物創注委員会 (Web)
- 19日 日印機工年始会(東京プリンスホテル)→中止、ジャグラ BB 委員会(Web)
- 21 日 総務委員会 (Web)
- 24 日 マーケティング委員会 (Web)
- 25 日 生産性向上委員会 (Web)
- 26 日 プライバシーマーク審査会
- 27日 愛知県支部新年会 (愛知観光ホテル)
- 28日 神奈川県支部新年会(菜香新館・上海路)

事・務・局・便・り

ジャグラ会館は昭和59年に土地付建物新築中に購入しました。購入額は10億5000万円で、その内 訳は3億5000万円が寄付金、7億円が金融機関からの借入金(30年超えの返済計画)でした。テナ ント入居を維持し、またより金利の低い金融機関への借り換えをして借入金の返済は順調に進みました。 12月1日現在で借入金残高は 1558 万円になりました。令和4年9月27日に返済が終了します。長 かった借入金返済は、あと少しです。(Y.N) ※「事務局便り」は本部事務局職員が交替で執筆しています

月刊「グラフィックサービス」 841 号

- 発行日 令和3年12月10日(毎月1回)
- **発行人** 中村 耀
- ■編集人 清水 隆司
- 発行所

ー般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ

〒 103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16 電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006 ウェブ https://www.jagra.or.jp/



ジャグラは一般財団法人日本情報 経済社会推進協会指定のプライバシー マーク指定審査機関です

■ 編集部 メール edit@jagra.or.jp

◎ 企画:ジャグラ広報委員会

委員長 清水 隆司/副会長

委員中村耀/会長

田中 秀樹/東京・城東

斎藤 成/東グラ専務理事

沖 敬三/専務理事

田中 良平/理事

外部委員 藤尾 泰一/旬インフォ・ディー 事務局 阿部奈津子

守田 輝夫

◎ 原稿・編集・校正:ジャグラ事務局ほか

敬三 田中 良平 並木 清乃 沖 阿部奈津子 今田 豪 守田 輝夫 長島 安雄 (以上、ジャグラ事務局) 洒井 玲子

斎藤 成 (東京グラフィックス/広報委員) 藤尾 泰一 (侑)インフォ・ディー / 広報委員)

日経印刷(株) (校正のみ) ◎ 涉 外 並木 清乃 守田 輝夫

◎ 広告 酒井 玲子

◎ Web 阿部奈津子

◎動画 今田 豪

◎ 組版 / デザイン (有)インフォ・ディー

DTP = Adobe CS6/CC ほか フォント=モリサワ OTF/ モリサワ BIZ+ ほか



※本誌の一部にユニバーサルデザインフォント を使用しています

◎ **製版 / 印刷** 日経印刷(株) (東京・千代田支部) R | P = 大日本スクリーン Trueflow

CTP=富士フイルム XP-1310R

刷 版=大日本スクリーン PT-R8800ZX

印刷機=ハイデルベルグ社 SM102-8P インキ= DIC

用 紙=三菱ニューVマット FSC-MX 菊判 62.5kg ※本誌は FSC 森林認証紙 (管理された供給源からの原材料で 作られた紙)とLED-UV インキ (リサイクル対応型) を用い、 環境に配慮した印刷工場で生産されています。

Copyright 2021 JaGra 禁無断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です 原則、TM や®マークは省略しています ※乱丁/落丁本はお取り替えいたします

カテゴリー BBネットワーク B Tube

カテゴリー > BBネットワーク > B Tube

RMGT970 あなたの

"誰一人取り残さない"社会の実現を基本理念とし、全世界へ向けての持続可能な開発目 標を掲げた SDGs (Sustainable Development Goals)。消費者や企業が、社会や環 境面に配慮した商品やサービスを求める傾向が高まる中、印刷会社もそのニーズに応え ることが求められてきています。

RMGT 970 モデルは、オペレーターフレンドリーなユーザーインターフェースや作業負担 を軽減する自動化 / 省力化機能をはじめ、損紙の削減や電力消費量低減によって省資 源/省エネルギーに配慮した、人に地球に優しい印刷機です。さらに菊全判ジャストサイ ズによるコストメリットはもちろん、生産性や印刷物の付加価値を高める各種オプション 機能も充実した、経営にも優しい印刷機です。

RMGT 970 モデルは、SDGs に取り組み、サステナブルな成長を目指すあなたの会社 を強力にアシストします。



人に優しい





経営に優しい

品検、濃度・見当調整をインラインで行い 損紙を減らせる PQS-D で地球に優しい ン<mark>や</mark>グラフを使った誰にでも解りやすい ィカルユーザーインターフェースで人に優しい



省電力で NonVOC な LED-UV で地球に優しい

短納期に対応できる ワンパス両面印刷で経営に優しい 刷版コスト、消費電力、設置スペースをセーブできる 菊全ジャストサイズだから経営に優しい

